

豊田市消防団警防技術大会を実施

豊田市消防団/豊田市消防本部

豊田市消防団は、令和3年11月28日に、豊田市消防団警防技術大会を開催しました。大会は、火災現場で必要となる、障害物の回避やホース延長方法など、警防技術の習得を目的に実施しました。

当日は、市内各地を代表する全10小隊（小隊は、最大5人で構成）46人が参加し、各小隊が工夫を凝らした消火技術を披露し合い、地域性を考慮した活動の共有や、消防資機材の有効な活用方法など確認し、消防団の活性化につながりました。



初期消火従事者に感謝状を贈呈しました

湖南広域消防局

令和4年1月31日（月）、北消防署において、初期消火等従事者の防災功労表彰（感謝状）贈呈式を実施しました。

本件は、守山市内で発生した建物火災において、配達業務中に助けを求める声を聞いた女性が現場へ駆け付け、初期消火及び119番通報を早期に行い、近隣住民に避難するよう呼びかけたものです。

火災に対する迅速かつ適切な対応によって、被害を未然に防ぎ、最小限に止めた功績を称え、北消防署長から感謝状を贈呈しました。



消防通信

望

楼

ぼうろう

鉄道災害時の安全対策研修会

豊中市消防局

豊中市消防局では、令和3年12月17日（金）、北大阪急行電鉄株式会社桃山台車庫において、鉄道災害時の安全対策研修会を実施しました。

この研修会は、平成14年11月6日にJR西日本東海道本線で発生した活動中の消防隊員の人身事故を受けて、事故発生時の通報体制や救助・救出活動時の安全管理体制を確立するために平成17年度から実施しています。今回で16回目となる研修会では、車両の構造等の講義を受けるとともに、実車による車両説明や事故対策想定訓練を実施しました。事故対策想定訓練では、各職員が実災害さながらの救出訓練を実施しました。



山岳事故防止のための広報活動を実施

筑紫野太宰府消防組合消防本部

筑紫野太宰府消防組合消防本部は、年間約10万人の登山者が訪れる九州屈指の山であり、史跡にも指定されている「宝満山」を管轄しています。ここ数年は、登山者の増加に伴い山岳救助事案も増加傾向にあります。

当本部の救助事案の約3分の1が山岳救助によるもので、山岳事故を少しでも減らせるように、主要登山口に立て看板の設置・登山者へのチラシ配布・HP掲載・SNSによる広報・太宰府市営のコミュニティバス車内の掲示等、様々な広報活動を実施しています。

当本部では、『登山者の方がより登山を楽しめるように』をモットーに今後も山岳事故防止に向けた取り組みを実施していきます。

